



GSI Creos

Produce the Future 次代を創る

株式会社GSIクレオス

証券コード 8101

第89期 株主通信

2018年4月1日から2019年3月31日まで

■ 存在理念

私たちの存在意義は、新たな価値を発見し、社会的な価値へと結晶させることにあります。

私たちは、次代の生活品質を追求するビジネス・プロデューサーとして、独自にして公益にかなう最高水準のサービスを創造し、GSIクレオスと価値を共創するすべての当事者の幸せを実現します。

■ 経営理念

社員とともに GSIクレオスにとって、人的資本こそが企業価値を創造する源泉であります。

私たちは、GSIクレオスを共に創るプロフェッショナル人材の開発に投資をおしまず、社員一人ひとりが、発揮した能力と意欲に応じて喜びと誇りを享受しながら、企業価値の創造に参画できる経営を実行します。

株主とともに GSIクレオスにとって、株主は持続的な成長と発展の柱石であります。

私たちは、安定的に企業価値を高め続けることが、株主への最大の貢献であると考え、企業価値の増大に資する事業活動に専心し、株主に対するオープンかつインタラクティブな経営を実行します。

取引先とともに GSIクレオスにとって、取引先は共に成長するパートナーであります。

私たちは、最良のパートナーを求めるとともに、自らも選ばれるための要件を満たし続けて、市場合理性にもとづく対等な関係を保つことで、常に学習し高め合う創造的な経営を実行します。

市場とともに GSIクレオスにとって、市場とは、価値観を共有する生活者であります。

私たちは、私たちの確信する価値観にもとづいて、世界中から最高のリソースを見出し、挑戦的にビジネスを展開し、生活者の期待を創り、期待に応える経営を実行します。

地球環境のために GSIクレオスにとって、地球環境の保全は、生活の場に対する信実であります。

私たちは、私たちの推進する事業活動の一環として環境保全に取り組むことで、より多くの人や組織とともに地球環境保全活動へ参加する経営を実行します。

会社組織のために GSIクレオスにとって、会社組織は、個の感性と叡智を結集し、最大限に高め合う器であります。

私たちは、個人の役割と成果責任を明確にして権限を委譲し、自律する強い組織をつくることで、市場に直結した判断と迅速な決定を可能にし、環境の変化にダイナミックに適應する経営を実行します。



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、第89期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長

吉永直明

第89期の業績

当期におけるわが国経済は、企業収益はやや弱含みながらも高水準を維持しており、雇用・所得環境も改善が続くなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国・欧州経済の減速や米中貿易摩擦の長期化などにより、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

こうした中、当社グループでは、当期を初年度とする3か年の中期経営計画を策定し、「海外売上高の拡大」や「収益性の向上」などの諸施策を実施してまいりました。

当期の業績につきましては、売上高は、前期比4,760百万円、3.6%増収の138,487百万円となりました。売上総利益は、前期比41百万円、0.3%増益の13,165百万円、営業利益は、

前期比110百万円、7.0%増益の1,683百万円、経常利益は、前期比158百万円、10.6%増益の1,661百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比238百万円、26.1%増益の1,152百万円となりました。

第89期業績

売上高	138,487百万円	前期比	3.6%
営業利益	1,683百万円	前期比	7.0%
経常利益	1,661百万円	前期比	10.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,152百万円	前期比	26.1%

次期の見通し

依然として先行き不透明な状況が続くと思われませんが、中期経営計画（2018-2020）に掲げる諸施策を実施し、引き続き収益基盤と財務体質の強化に取り組んでまいります。

第90期業績予想

売上高	123,000百万円
営業利益	1,700百万円
経常利益	1,700百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,200百万円

株主還元について

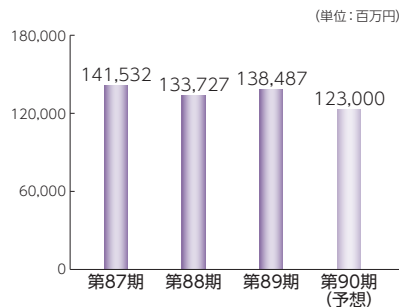
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置付け、安定的かつ継続的な利益還元を実施するとともに、配当性向25%以上を目指すことを基本方針としております。

この方針にもとづき、当期の配当金につきましては、1株当たり40円とさせていただきます。次期の配当金につきましては、1株当たり45円を予定しております。

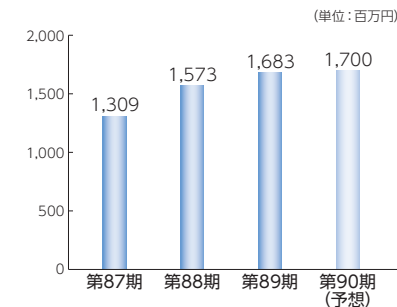
また、本年3月には、株主還元策として約153百万円（134,800株）の自己株式を取得いたしました。

業績の推移(連結)

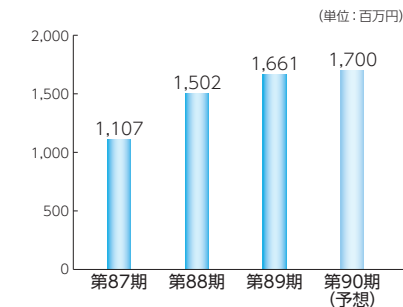
売上高



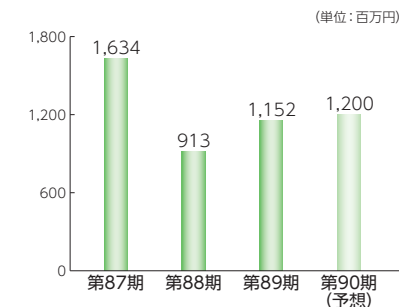
営業利益



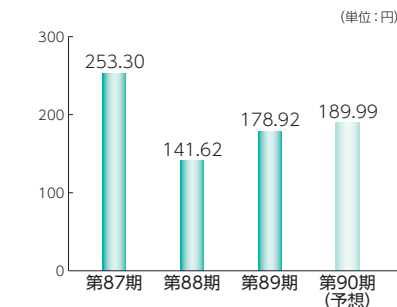
経常利益



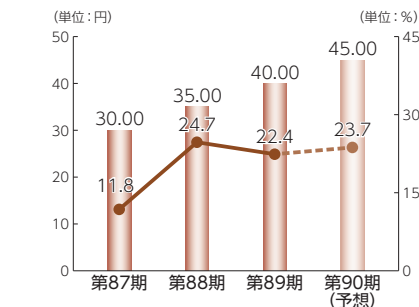
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益(注)



配当金(注)/配当性向



(注)当社は、2017年10月1日付で株式会社(普通株式10株を1株に併合)を実施いたしました。1株当たり当期純利益および配当金につきましては、第87期の期首に株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

中期経営計画（2018-2020）の進捗

中期経営計画（2018-2020）で掲げた4つの重点施策について、同計画初年度における進捗状況を次のとおりご説明いたします。

「海外売上高の拡大」につきましては、世界に広がる当社拠点の連携をより深め、グループ全体での販売体制を強化したことにより、海外売上高が伸長しました。また、新たな拠点を北米（GSIアメリカ社テキサス地区出張所）と中国（GSI中国社平湖分公司）に設立し、販売・供給ネットワークの拡充を図っております。

「収益性の向上」につきましては、繊維事業において、国内外の当社グループ会社や事業パートナー企業との連携による、「原糸・生地分野を中心とする、企画、開発、製造、販売までのバリューチェーンの強化」を着実に進めております。工業

製品事業におきましては、生分解性プラスチック市場への本格参入や、自社ネイルブランドの立ち上げを行うなど、収益性向上に向けた新規ビジネスへの取り組みを強化しております。ナノテクノロジー事業におきましては、国内外の事業パートナーと連携し、グローバルベースでの市場開拓と事業開発を推進しております。

「人材の充実と働き方改革への対応」につきましては、グローバルに活躍する人材の育成にさらに注力するとともに、「IT化推進プロジェクト」を立ち上げ、IT導入による業務の効率化を進めております。

「内部統制システムの充実とリスク管理の徹底」につきましては、当社グループにおける監査体制を整備し、グループ規模での経営管理を強化しております。

ビジョン

ニッチな分野でグローバルに独自の機能を提供する事業創造型商社として社会に貢献する

売上高

1,400億円

純利益

15億円

ROE

8%

ROA

3%

自己資本比率

30%超

配当性向

25%以上

ROE：自己資本当期純利益率 ROA：総資産当期純利益率

重点施策

1. 海外売上高の拡大
2. 収益性の向上
3. 人材の充実と働き方改革への対応
4. 内部統制システムの充実とリスク管理の徹底

セグメント別概況

繊維事業

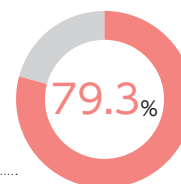
主要商品：

繊維原料、テキスタイル、
レッグ・インナー・
アウターウェア 他

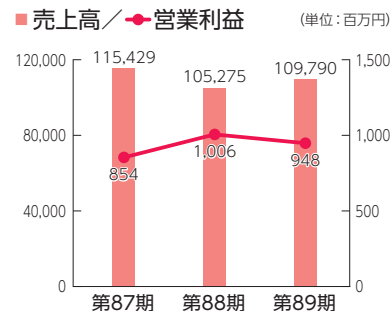


売上高	109,790百万円	
前期比		4.3%
営業利益	948百万円	
前期比		△5.8%

売上高構成比



- 機能性の高い原糸・生地 of 海外販売が大きく伸長しました。
- 婦人ファンデーションの取引は低調に推移しましたが、中国におけるインナー製品のOEM取引は増加しました。
- 米国向けのアパレル用生地 of 取引とアウター製品のOEM取引が増加しました。一方、婦人ニット製品の輸入販売は減少しました。



工業製品事業

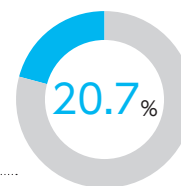
主要商品：

化学品、機械・材料、
ホビー・生活関連品 他

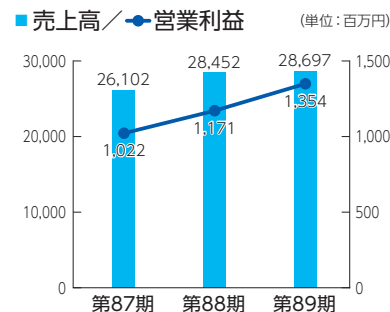


売上高	28,697百万円	
前期比		0.9%
営業利益	1,354百万円	
前期比		15.6%

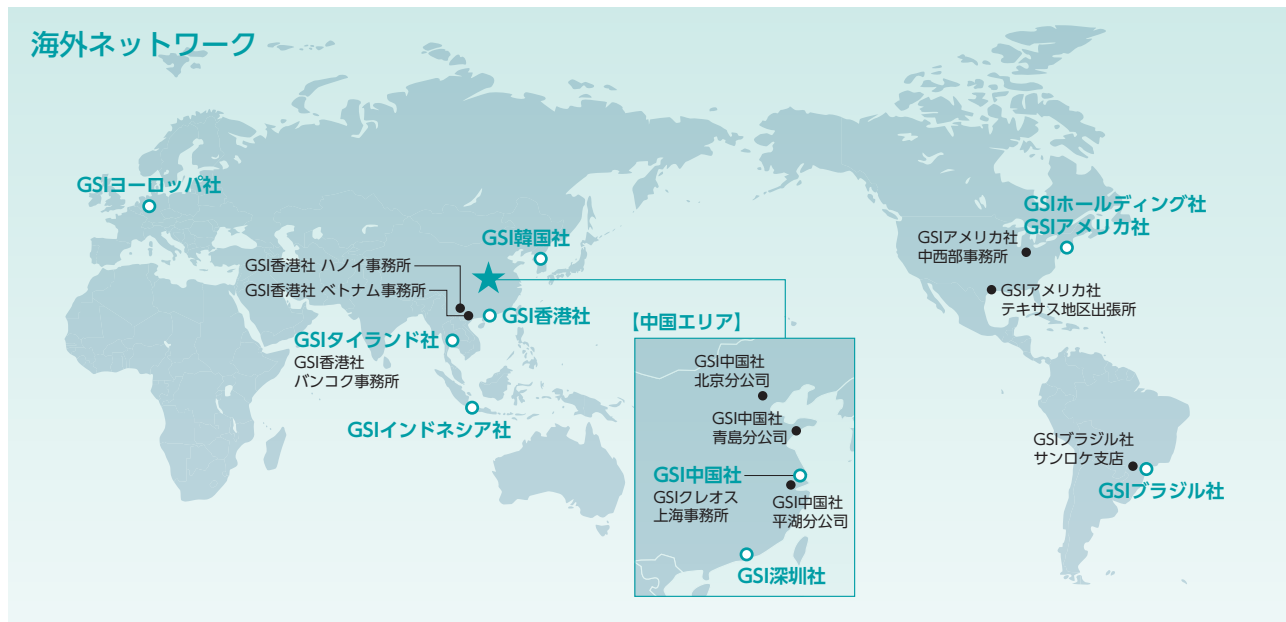
売上高構成比



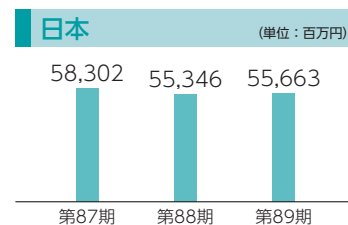
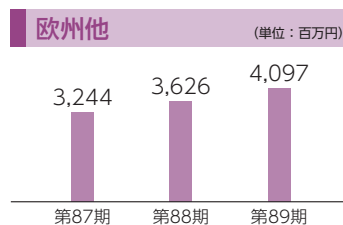
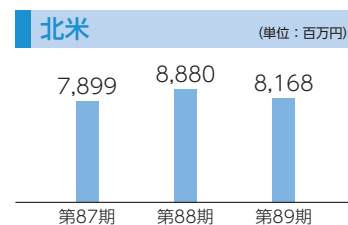
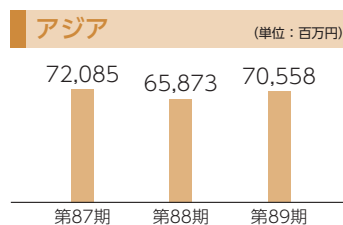
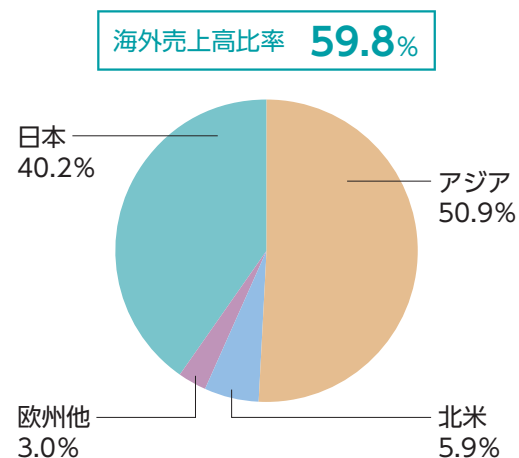
- フィルム関連の取引が増加し、塗料原料の輸出入取引と米国向けの化学品の取引は前年並みに推移しました。
- 中国製半導体基板および機械装置の取引は堅調に推移しました。
- ホビー関連および化粧品原料の取引は増加しました。
- ナノテクノロジー事業は、カップ積層型カーボンナノチューブ「カルベール®」の特徴を活かし、複合材や塗料などの分野において事業化を進めています。



海外ネットワーク



地域別売上高構成比



連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨) (注)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2018年3月31日現在	2019年3月31日現在
流動資産	52,087	51,577
固定資産	10,589	10,041
有形固定資産	4,407	4,466
無形固定資産	620	520
投資その他の資産	5,562	5,054
資産合計	62,677	61,618
流動負債	42,895	41,834
固定負債	865	791
負債合計	43,760	42,626
株主資本	18,090	18,862
その他の包括利益累計額	826	129
純資産合計	18,916	18,991
負債純資産合計	62,677	61,618

ポイント① 資産

売上債権の減少などにより、前期末比1,058百万円の減少。

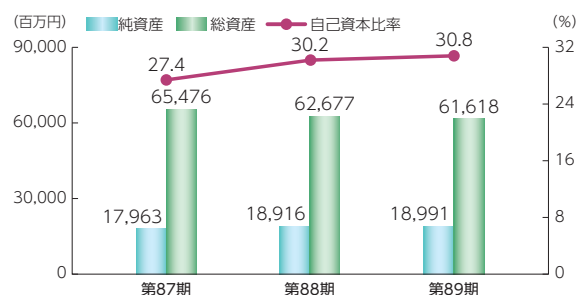
ポイント② 負債

借入金の減少などにより、前期末比1,134百万円の減少。

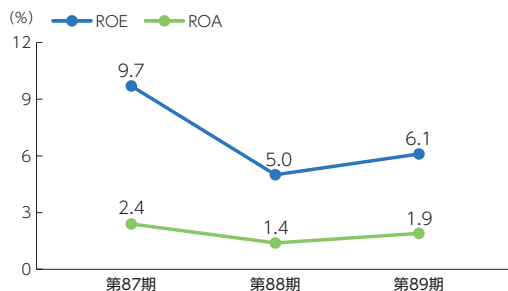
ポイント③ 純資産

その他の包括利益累計額が減少するも、親会社株主に帰属する当期純利益による株主資本の増加により、前期末比75百万円の増加。

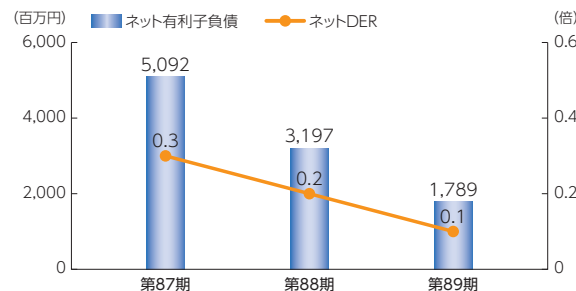
純資産(百万円) / 総資産(百万円) / 自己資本比率(%) (注)



ROE(%) / ROA(%) (注)



ネット有利子負債(百万円) / ネットDER(倍)



(注) 「「税効果会計に係る会計基準」の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当期から適用しており、前期(第88期)の数値につきましては、当該会計基準を遡って適用した後の数値となっております。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2017年4月1日～ 2018年3月31日	2018年4月1日～ 2019年3月31日
売上高	133,727	138,487
売上原価	120,603	125,322
売上総利益	13,123	13,165
販売費及び一般管理費	11,550	11,481
営業利益	1,573	1,683
営業外収益	223	244
営業外費用	294	267
経常利益	1,502	1,661
特別利益	474	52
特別損失	452	112
税金等調整前当期純利益	1,524	1,600
法人税等合計	610	448
親会社株主に帰属する当期純利益	913	1,152

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2017年4月1日～ 2018年3月31日	2018年4月1日～ 2019年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,394	2,199
投資活動による キャッシュ・フロー	697	△196
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,846	△2,131
現金及び現金同等物の 期末残高	12,636	12,437

ポイント④ 売上高

繊維事業の海外売上高が大きく増加し、前期比4,760百万円の増加。

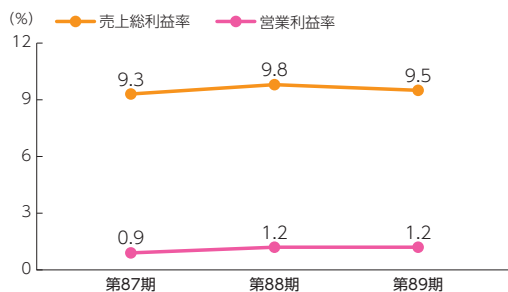
ポイント⑤ 営業利益

繊維事業の売上総利益率が低下するも、工業製品事業の売上総利益が増加。加えて販管費（物流費や人件費等）が減少したことから、前期比110百万円の増加。

ポイント⑥ 親会社株主に 帰属する当期純利益

借入金の返済により、支払利息が減少したことなどから、前期比238百万円の増加。

売上総利益率(%)／営業利益率(%)



当社ホームページ(IR情報ページ)のご案内

当社ホームページのIR情報のページでは、中期経営計画、決算短信や有価証券報告書等のIR情報をご覧いただけます。より詳細な情報につきましては、下記のアドレスにアクセスくださいますようお願いいたします。

<http://www.gsi.co.jp/ir>

個人投資家向け説明会（「野村IR 資産運用フェア2019」）に初出展 －当社の成長性をアピール－

当社は、本年1月に東京国際フォーラムで開催された「野村IR 資産運用フェア2019」に初出展しました。

当社ブースでは、会社の概要、各事業の強み、今後の事業展開や配当方針などを説明しました。多くの個人投資家・株主の皆様にご来訪いただき、当社の業績や事業内容等についてご質問いただくなど、貴重なコミュニケーションの場となりました。

今後も、積極的にIR活動を展開し、当社の成長性を投資家の皆様にお伝えしてまいります。



当社ブースでの会社説明の様子

ネイル市場に参入 －自社ネイルブランド「CON'CELECT（コンセレクト）」の販売を開始－



「CON'CELECT」のネイルブラシ

当社は、昨年11月に自社ネイルブランド「CON'CELECT（コンセレクト）」を立ち上げ、ネイリスト向けツールの販売を開始しました。

第一弾となるネイルブラシには、業界で初めてグリップにシリコンを使用しており、「持ちやすい」、「長時間のネイル作業でも疲れにくい」などと、ネイリストの皆様から高い評価をいただいております。

本年4月には、米国で大きな注目を集めている日本人ネイルアーティスト、Britney TOKYO氏とのコラボレーションによる商品開発が決まるなど、販売拡大に向けた活動を強化しており、今後は、マニキュアや個人消費者向け商品の開発にも取り組んでまいります。

会社概要

■会社の概要 (2019年3月31日現在)

会社名	株式会社GSIクレオス		
本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号		
設立	1931年10月31日		
資本金	71億86百万円		
従業員数	561名(連結)		
拠点	国内 7ヶ所	海外	20ヶ所
連結子会社	国内 8社	海外	7社
ホームページ	http://www.gsi.co.jp		

■取締役・執行役員 (2019年6月26日現在)

取締役

代表取締役社長 社長執行役員	吉永直明	<監査等委員>
常務取締役 常務執行役員	中山正輝	取締役 松下康彦
常務取締役 常務執行役員	荒木靖司	社外取締役 後藤芳浩
取締役 執行役員	新美一夫	社外取締役 早野貴文
取締役 執行役員	大西文博	(注) 松下康彦は、常勤の監査等委員であります。
取締役 執行役員	西村裕樹	
社外取締役	服部和徳	

執行役員

窪田 満	森田雅彦	田村雄一
大賀浩司	鈴木恵太	

■株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	6,464,971株 (自己株式148,875株を含む。)
株主数	5,143名

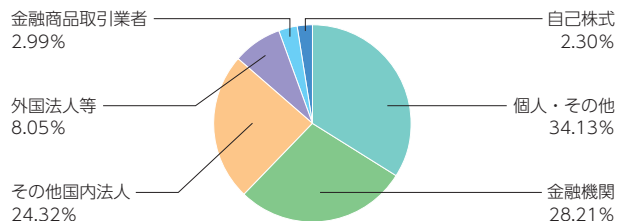
大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	932	14.76
株式会社三菱UFJ銀行	310	4.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	296	4.69
日本生命保険相互会社	232	3.69
東レ株式会社	198	3.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	197	3.13
株式会社みずほ銀行	189	3.00
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	172	2.73
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	118	1.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	101	1.61

(注) 1. 当社は、自己株式を148,875株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率につきましては、自己株式(148,875株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

株主構成(所有者別株式数の割合)



株主メモ

証券コード	8101
上場証券取引所	東京
単元株式数	100株
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス http://www.gsi.co.jp/ir/notice (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

